

豚小屋

作 ● 機成 ● ヒ元
● 演出 ● ハオロ ● パンリ
衣裳 ● 美粧 ● 川村 ● 毅
宇野 ● 亜喜良
P.P. Pasolini's PORCILE

2011年
6月4日(日) 14:00 18:00
京都芸術劇場 春秋座 舞台上(京都造形芸術大学内)



伊藤 まる
中村 崇
伊澤 勉
格アリス
大谷 直孝
福上 恵
河合 春南
宮本 誠

Toru Tezuka

Kim Itoh

FACTORY



何故、今、パゾリーニか？

川村 毅

ピエル・パオロ・パゾリーニは未だに二十世紀の謎として屹立しています。その死は、何も解決されないままのまさしく切断でした。その謎と切断に向けての探求と説明がこの企画の目的です。

氏の戯曲は、映画に比べて日本では、ほとんど取り上げられず、問題にすらもされていません。パゾリーニが実はテアトロへの欲望を濃厚に抱えていたことは、映画『テオレマ』の演劇的構成からも読み取れますし、『オイディプス』、『メディア』の映画化からも十分に伺えます。パゾリーニの謎を、さらに日本においては謎として放置されたままのパゾリーニ戯曲を、白日の下に晒すというスリリングな上演です。

コミュニストでありながらカソリック、反資本主義者でありながら映画の興行成功に腐心したパゾリーニの入り組んだ思考回路、思考の方法が現在に有益だと考えるのです。

個人的なことに言及すれば、パゾリーニという作家は私にとって映画少年であつた時期より重要な人であり、中学生の時にその死のニュースを耳にした際には衝撃を覚えました。

やがて彼が戯曲を数本執筆していることを知り、原書は手に入れたものの、なんとか上演できないかという思いを抱き続けてきました。

出来れば今後全作品の上演の実現を望んでいます。

豚小屋

作 ● ピエル・パオロ・パゾリーニ
構成・演出 ● 川村 毅
衣裳・美粧 ● 宇野亜喜良

P.P.Pasolini's PORCILE

主催 ● 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

20世紀の〈謎〉イタリアの詩人、映画監督として知られるパゾリーニが遺した舞台戯曲本邦初翻訳初演!



手塚とおる



河合杏南



笠木 誠



福士恵二



大沼百合子



伊澤 勉



柊アリス



中村 崇



伊藤キム

作 ● ピエル・パオロ・パゾリーニ 翻訳 ● 大崎さやの、キアラ・ボッタ 構成・演出 ● 川村 毅 衣裳・美粧 ● 宇野亜喜良

衣裳・美粧助手 ● 野村直子 照明 ● 奥田賢太 (colore) 音響 ● 原島正治 演出助手 ● 小松主税 舞台監督 ● 小笠原幹夫 (劇工房 友真)

宣伝写真 ● 元田敬三 宣伝美術 ● マッチアアンドカンパニー 制作 ● 平井佳子 / ティーフクトリー

協力 ● トライストーン・エンタテイメント、J.CLIP、ストローハウス

京都公演スタッフ 技術 ● 小坂部恵次、株式会社ピーエーシーウエスト 制作 ● 川原美保、土屋和歌子

2011年6月4日[土] 14:00 / 18:00

京都芸術劇場 春秋座 舞台上 (京都造形芸術大学内)

☆14:00開演の部、終演後にトークを行います。(各回開演30分前よりホワイエ開場 / 開演10分前より整理番号順にてご入場頂きます。)

料金・整理番号付自由席

一般 3,500円

シニア 3,200円

京都芸術劇場友の会 2,700円 (先行発売あり・年会費2000円)

学生&ユース 2,000円

瓜生山学園生 1,000円

※前売・当日共通料金 ※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上 ※学生、ユース、シニアは要身分証明書提示

チケット取扱い

京都芸術劇場チケットセンター tel.075-791-8240 (平日10:00~17:00)

劇場オンラインチケットストア パソコンから <http://www.k-pac.org/>

※要事前登録(無料) 携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

チケットぴあ <http://t.pia.co.jp>

tel.0570-02-9999 [Pコード:411-663]

※瓜生山学園生は劇場チケットセンターのみの取扱い

前売開始 2011年4月6日[水]

主催・お問合せ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 tel.075-791-9207



京都芸術劇場
モバイルサイト

ピエル・パオロ・パゾリーニ

1922年イタリア・ボローニャで、ファシスト軍人の父と元教師の母の長男として生まれる。22歳で処女詩集「カザルサ詩集」を自費出版。終戦前に弟グイドがバルチザンの内紛により20歳で死亡。カザルサで教師になるが、共産党に入党、地域のリーダーとして活躍する。しかし政敵から「ホモセクシュアルが未成年を墮落させている」と密告され、共産党から除名される。極貧の中で詩作・小説執筆を続け、1956年フェデリコ・フェリーニ監督より「カリビアの夜」共同脚本の依頼を受けたのをきっかけに、次々と映画作品を発表、国際的評価を得る。1975年「ソドムの市」撮影直後、ローマ郊外の海岸で他殺体で発見されたが、事件の真相は未だ不明。



京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

〒606-8271
京都市左京区北白川瓜生山2-116

●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車 (京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町・北大路駅から京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車 (約15分)

●京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクのご入場はお断りします。